



10/24 読み書かせ

# Håfa Adai

グアム日本人学校（全日制）学校だより

平成29（2017）年10月31日

校長 福澤 諭

## 先輩からのメッセージ

9月末、世界一大きな規模のバンコク日本人学校（約2700名が在籍）で校長研究協議会が開催されました。その際、香港中学部日本人学校の校長から、「本校にグアム日本人学校の卒業生で、頑張っている先生がいますよ。」というお話を耳にしました。大変嬉しく思い早速連絡をとらせてもらおうと、小学部3年生～中学部卒業まで在籍していた川本将多さんでした。現在、香港中学部日本人学校の英語の先生として、文部科学省から派遣され活躍中です。ちょうど中学部の宿泊学習がありましたので、中1・中3の子ども達へメッセージを寄せていただき、宿泊学習の2日目に紹介しました。

### 《川本先輩からのメッセージ》

今の中学生に求められること……。

クラスの生徒には、他人の気持ちを考えることや人との共存、協働していく上での必要なスキルを育てて欲しいと伝えています。個人的には、自分の意見をきちんと持つこと、そして、それを具現化するために努力する力が求められていると思います。後は、「人間力」です。人を惹き付ける力は、何事にも全力で取り組める姿だと思います。思春期でいろいろと心が揺れる時期だと思いますが、得意不得意関係なく全力で取り組める力や心の強さを身に付けて欲しいです。

今、置かれている環境はめぐまれている環境だということを実感して、国際人として日本やグアムを背負って立つ存在であることを十分理解して欲しいと思います。他の人よりも経験値が高いグアムっ子だからこそ、世界に視野を向け活躍することを目指して、夢を持って羽ばたいてほしいと思います。

川本先生が教師を目指そうと思ったのは中学部2年生の時で、当時の先生方との出会いが大きく影響したようです。その後、自分の得意な英語を伸ばすために努力を重ね、進路を決定して行かれました。川本先生をはじめグアム日本人学校の卒業生が、近い将来母校であるグアム日本人学校で教鞭を執るようになる日がくるかもしれませんね。

川本先生には、日本人会ニュース「ラッテ」への原稿も依頼しています。楽しみです。

### 【編入生】

11月1日（水）より、小学部4年生に子田優月（こだ ゆづき）さんが編入し、朝歓迎式を行う予定です。4年生には、10月に石井華蓮（いしい かれん）さんが仲間入りしています。4年生は11名に、小中学部は60名になります。

規模ではバンコク日本人学校にかないませんが、仲良く元気に全力で取り組み、『世界一輝く日本人学校』として、みんなで夢に向かって伸びていきましょう。